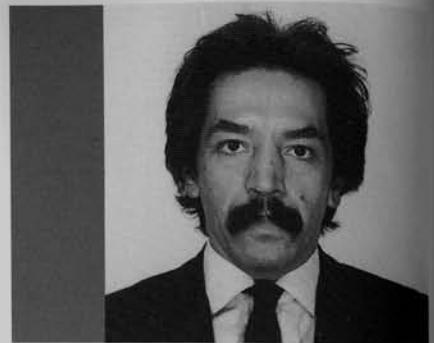
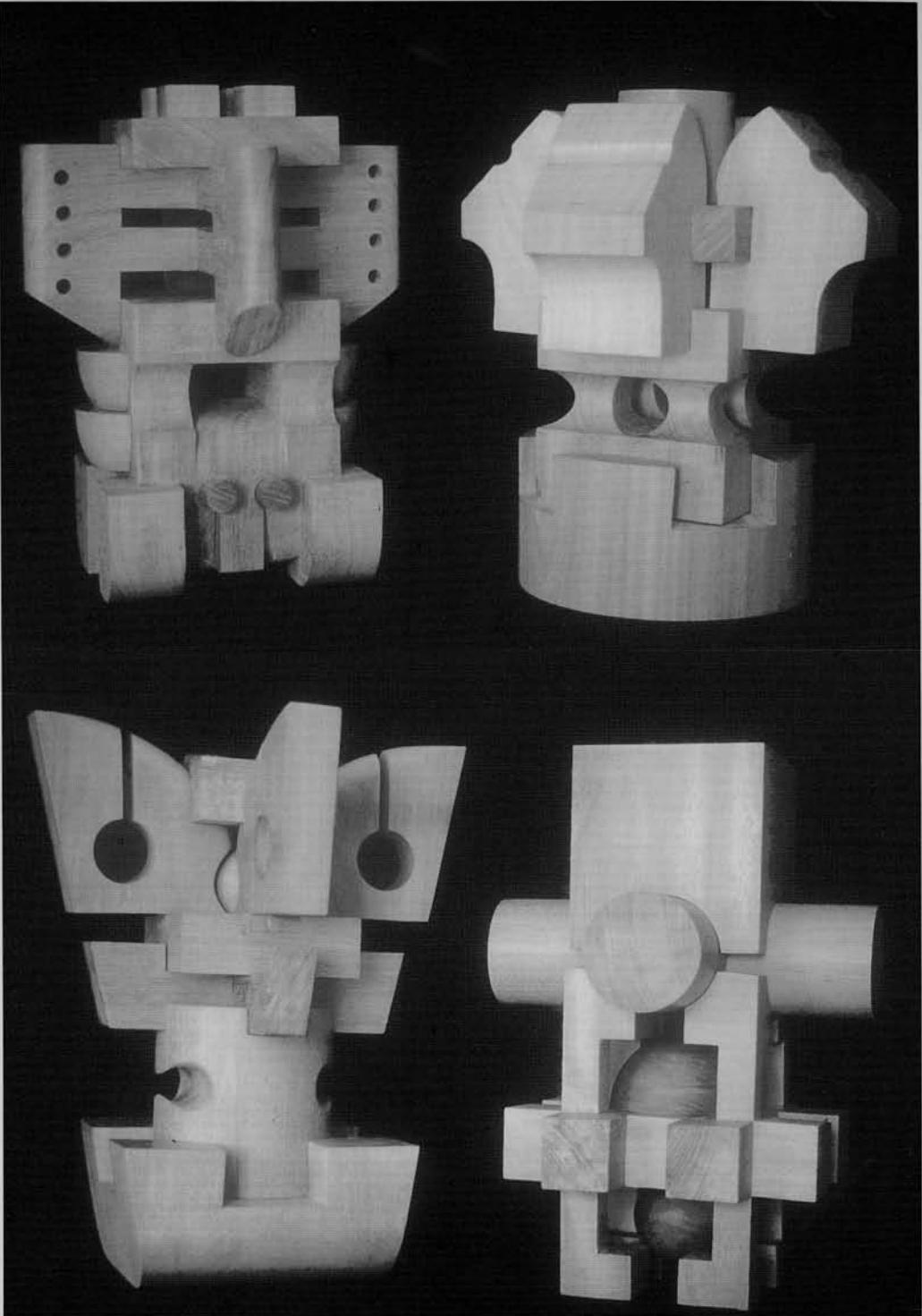




INTERNATIONAL ART EXHIBITION '91

KANAZAWA COLLEGE OF ART



VANEGAS Jose (ホセ・バネガス)

1954 コロンビア、ボゴタ出身
 1975-82 National University Fine Arts School Bogota, Sculpture Department
 1983-85 金沢美術工芸大学 彫刻専攻 講師
 高橋清教授に師事、日本政府国費留学
 住所 Carrer del Taulat, 131 Ate 1^o 08005 Barcelona, Spain
 作歴
 1983-87 Kanazawa Sculpture Exhibition
 Nishida Gallery, Nara, Japan
 1985 Tokyo Metropolitan Museum, Japan
 Rotary Club, Kyoto, Third Prize
 1986 Nissin Gallery Tokyo
 The 25th Hokuriku Chunichi Exhibition
 1987 Nabi Gallery, Kanazawa
 1989 Sabadell Academy of Fine Arts, Spain
 National Museum of Sculpture, Villena Palace, Valladolid, Spain
 1990 Hauptschule Herbertskaul, Frechen, Germany
 Jnguanzo Gallery, Madrid, Spain
 Expositum Gallery, Mexico City, Mexico

現在の作品は、日本にいたときに始まった「女性」というテーマにおいても、木という素材についても変わっていない。ただし、スペインでの女性のかたちはさらに複雑に、おおらかになります。アフリカから取り寄せた材(iroko-teka)がこれまでより乾いたイメージを与えるかも知れません。日本に滞在し学んだ貴国との文化の本質的なものが、はたしてどれ位私の今の作品と生活のなかに入り込んでいるか意識しては来ませんでした。しかし、それは、金沢を去り4年経った今も相変わらず、強く、深く、持続的に忘れ難く心のなかに生きています。再び、金沢を訪れ、私の感情に刻まれた東方の哲学をもう一度確かめてみたいと思います。この新しい試みが、質の高い成功を収めるように、そしてこの貴重な機会をくださいましたビダイに心から感謝します。

Laughing Woman
 49×39×39cm
 Column with Male Capital
 48.7×41×41cm
 Column with Female Capital
 57×47×47cm
 Vertical Coitus
 55×37.5×40cm



「新・芸術の都」は金沢に決まり！

国際交流25年を迎えた金沢美大の実力

オープニングの日に集まつたのは
八ヵ国十七人の留学生と、外国留学
経験がある卒業生、さらに交流先の
米・バークレッジの教師・学生ら
で、久しぶりの金沢の町並み、留学
時代の思い出など懐かしい昔話に花
を咲かせた。デンマークから来たシ
ヤヌ・フィリップさんも、「金沢は
とてもいい町。また訪れることが出
来てうれしい」と、流ちょうな日本
語で感激の弁。

受け入れ側の小松曉一・金沢美大
教授は、「二十五年間の歩みを表現す
るにふさわしい完成度の高い作品が
そつた」とこちらも喜びを隠しき
れない様子。金沢が世界の芸術・テ
ザインの一拠点になれるかどうか、
金沢美大の実力が問われるところ。

金沢美大が最初の外国人留学生を
迎えたのが昭和四十一年。ことし二
十五周年を迎えたのを記念して先ご
ろ金沢市文化ホールで開いたのが
「国際交流美術展」である。

会場には絵画あり、彫刻あり、オ
ブジェありとバラエティー豊かな作
品がすらり。出品者もアメリカ、イ
ギリス、韓国、デンマーク、ポルト
ガル、フランスと「芸術の都パリ」
に負けないほどの国際美術展となっ
た。

トライ
あんぐら

元留学生と「美の国際展」

金沢美大

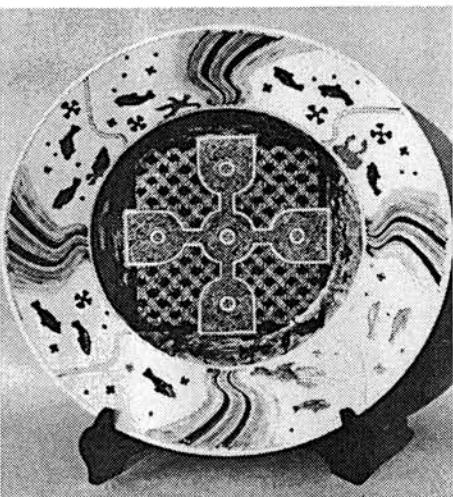
9カ国、力作集め

6月開催 海外OBらも出品

金沢美大は六月、同大に学んだ元留学生と、海外で制作活動を続ける同大出身者たちの作品を一堂に集めた国際美術交流展を金沢市文化ホールで開く。開学四十五周年、留学生受け入れ二十五周年を記念して企画され、元留学生は米、英、仏、韓国など九カ国に及び、出身者は米、オーストリアなどから作品を寄せる。全国の美術系大学でこれほど大掛かりな交流展を開くのは例がなく、在学生にも刺激を与える展覧会になると関係者は期待している。

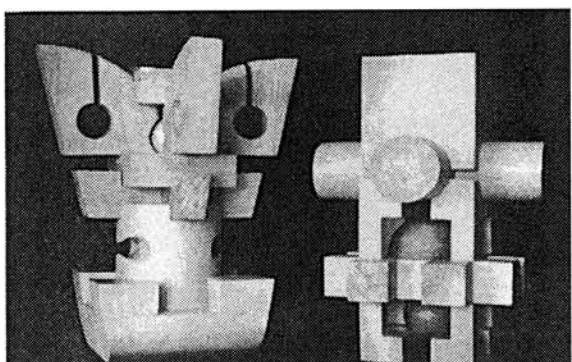
金沢美大は、昭和四十一年に、年から留学生を受け入れており、帰国後は「美術工芸王国」の石川の地から受けた影響を作品に反映させている作家も少なくない。長のもとで同大美術工芸研究室に学んだ元留学生は、海外で制作活動を続ける同大出身者たちの作品を一堂に集めた国際美術交流展を金沢市文化ホールで開く。開学四十五周年、留学生受け入れ二十五周年を記念して企画され、元留学生は米、英、仏、韓国など九カ国に及び、出身者は米、オーストリアなどから作品を寄せる。全国の美術系大学でこれほど大掛かりな交流展を開くのは例がなく、在学生にも刺激を与える展覧会になると関係者は期待している。

金沢美大は、昭和四十一年に、年から留学生を受け入れており、帰国後は「美術工芸王国」の石川の地から受けた影響を作品に反映させている作家も少なくない。長のもとで同大美術工芸研究室に学んだ元留学生は、海外で制作活動を続ける同大出身者たちの作品を一堂に集めた国際美術交流展を金沢市文化ホールで開く。開学四十五周年、留学生受け入れ二十五周年を記念して企画され、元留学生は米、英、仏、韓国など九カ国に及び、出身者は米、オーストリアなどから作品を寄せる。全国の美術系大学でこれほど大掛かりな交流展を開くのは例がなく、在学生にも刺激を与える展覧会になると関係者は期待している。



↑ 九谷焼の雰囲気を感じさせるラッセル・コーツさんの作品

ホセ・ヴァネガスさんの彫刻



研究所(所長・小松曉一教授)が中心になって準備を進めてきた。展覧会は六月十九日から同二十九日まで

開かれ、展示分野は陶芸、染織、漆芸、彫刻、写真、

デザイナー、絵画、ガラス工芸と幅広く、約七十点の作品が国境を超えて美の和音を奏でる。二日までに出品が決まり、元留学生は、北出藤雄(号・不二雄)新学長の教授時代に指導を受けた陶芸のラッセル・コーツさん(英国)、彫刻のホセ・ヴァネガスさん(コロンビア)、パッケージデザイン

で現地で注目されているジエラード・エーテボリーバランド美術院の学生の作品が展示される。約二十人となっている。出身者ではパリ在住の洋画家山本平さん、イタリアのミラノ在住の西田藤夫さんらのほか、海外留学体験を持つ県内在住作家ら合わせて約二十人が参加する。

会期中には元留学生を招いてのフォーラムや講演会も予定され、小松教授は「金沢での体験がどう生かされているのかを市民、県民に紹介するとともに、展覧会を通じて大学の国際化をさらに推進したい」と話している。



KANAZAWA COLLEGE OF ART

INTERNATIONAL ART EXHIBITION '91

■HOST ORGANIZATION■

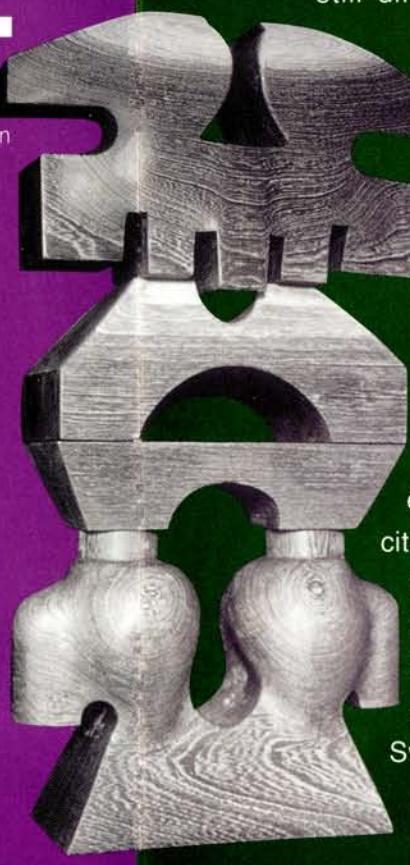
Kanazawa College of Art
Kanazawa Art Education Furtherance Foundation

■COOPERATING ORGANIZATIONS■

Bard College, Valand School of Art

■COOPERATORS■

Ishikawa Culture & Industries Foundation
The Hokkoku Shimbun



The Exhibition, Forum and Lectures are designed to revitalize the relationship with painters, sculptors, craftsmen, designers and art teachers who share the common experience of having studied at Kanazawa College of Art or overseas after having graduated from this college, and have continued to work with their eyes and hearts still directed towards KANAZAWA from their home lands.

Having accepted more than seventy foreign students and researchers for a quarter of century, we regard the Exhibition as a very good opportunity to revitalize the human heritage which has been cherished by not only college people but also the citizens in KANAZAWA, and to further the partnership inaugurated last year, with Bard College in New York and Valand School of Art in Sweden.

■EXHIBITION

- Wednesday 19 June thru Saturday 29 June
- The Kanazawashi Bunka Hall,
Gallery(10:00-18:00)

Opening Ceremony;

10:00 AM. 19 June at The Kanazawashi Bunka Hall
Welcome Party;

18:00-20:00 PM. 19 June at New Grand Hotel

■LECTURE

- Friday 21 June, 13:00-16:30
- Kanazawa College of Art, " BIDAI HALL "

Laure Battle, Chair of Art Department, Bard College
Roe Kyung-Joe, Vice Professor of College of
Architecture and Design Kookmin
University (Korea)

Shigeyuki Takao, Representative of DEPRO
International Associates

■FORUM

- Sunday 23 June 13:30-16:30
- The Kanazawashi Bunka Hall

Panelists:

Miriam Friedman(USA), Jeanne Philip(Denmark)
Jose Vanegas(Spain), Hwang Duk Hee(Korea)
Yoshio Kamitani(France), Haruko Yamashita(Japan)
Student of Bard College(USA)

(13) 平成3年(1991年)6月21日 (金曜日)

12カ国からの作品を集めて開かれた金沢美大
国際交流展

=金沢市文化ホール



金沢市文化ホールで開催 藝術学院の学生九人の版画 中の金沢美大国際美術交流 九点も展示されている。 展(北國新聞社協力)は同 留学生ら外国人出品者で 大の留学生受け入れ二十五周年を記念した催しで、留学生らは日本的なもの 目立つのは、日本的なもの 出している。マリア・キャ

学生や留学経験のある同大 卒業生、海外で活躍するOBの国際感覚あふれる作品が展示されている。

出品者は海外からの留学生

生・留学経験者が十七人、

同大卒業生で留学体験者及

び海外在住者二十二人で、

同大と交流を進める米・ニューヨーク州バードカレッジの教員・学生二十五人も

絵画や写真など二十五点

スウェーデンのヴァランドani

学生は、海外から来た金沢美大国際交流展

の影響を積極的に取り入れた作品の多いことで、北出黄淑真さん(台湾)はともに自国の伝統的な染織に日本大雄同大学長の元で九谷焼を学んだラッセル・コーンさん(英)は「Kut」出品している。陶芸や漆芸

の影響を強く受けた若いエネルギーの多さが、金沢美大で学んだとい

う共通項を基盤にして企画された絵画の息吹を鑑賞者に示す

が、これまで余り例のないバラエティに富んだ作品が集めた、美術爱好者には

現代感覚あふれる作品立

留学生、海外在住者ら出品

金沢美大の国際美術交流展

文化

出品、九谷の五彩を駆使しながら、イルカの文様を使ふなど新しさと個性を打ち出している。マリア・キャ

（ペネズエラ）▽鄭解朝（韓国）▽アルベルト・シドラ・ス▽ラッセル・コート（英

国）▽ミリアム・フリードマン（米国）▽黃淑真（台湾）

▽池越直人（オーストリア在住）▽神谷佳男（フランス在住）▽任麻善（韓国）▽顧琪君（門神）▽黃惠熙（韓国）

▽前田昌彦（金沢）▽七尾み子（金沢）▽西田藤夫（台湾）▽村田真樹（鎌倉）

▽末松智（オーストリア在住）▽竹谷賢次（新潟）▽山本平（フランス在住）▽バトル・リック・パリゾ（フランス）▽彫刻△アン・デーヴィス（イタリア在住）▽インガ・ヘニングセン（デンマーク）▽飯尾豊（イタリア在住）▽康錦樹（台湾）▽佐々木成（米国在住）▽ホセ・バネカス（コロンビア）▽

▽アザイン▽福島洋（米国在住）▽インガ・ヘニングセン（デンマーク）▽飯尾豊（イタリア在住）▽松井良樹（金沢）▽シャンヌ・フィリップ（デンマーク）▽高尾茂（イタリア在住）▽山本成信（東京）

▽工芸▽マリア・キャリロ（ペネズエラ）▽鄭解朝（韓国）▽アルベルト・シドラ・ス▽ラッセル・コート（英

国）▽ミリアム・フリードマン（米国）▽黃淑真（台湾）▽池越直人（オーストリア在住）▽神谷佳男（フランス在住）▽任麻善（韓国）▽顧琪君（門神）▽黃惠熙（韓国）▽前田昌彦（金沢）▽七尾み子（金沢）▽西田藤夫（台湾）▽村田真樹（鎌倉）▽末松智（オーストリア在住）▽竹谷賢次（新潟）▽山本平（フランス在住）▽バトル・リック・パリゾ（フランス）▽彫刻△アン・デーヴィス（イタリア在住）▽インガ・ヘニングセン（デンマーク）▽飯尾豊（イタリア在住）▽康錦樹（台湾）▽佐々木成（米国在住）▽ホセ・バネカス（コロンビア）▽アザイン▽福島洋（米国在住）▽インガ・ヘニングセン（デンマーク）▽飯尾豊（イタリア在住）▽松井良樹（金沢）▽シャンヌ・フィリップ（デンマーク）▽高尾茂（イタリア在住）▽山本成信（東京）



国際美術交流展を熱心に鑑賞する来
賓や留学生ら=金沢市文化ホールで

新鮮感覚一堂に

金沢で国際美術交流展

「'91国際美術交流展」

(金沢美大、金沢芸術教育振興会主催)

は十九日、金沢市文化ホール展示ギャラリーで開幕した。二十九日

各地へ留学した人、また姉妹関係にある米国・バート大学やスウェーデン・ヴァラント学院の学生、教員の作品を八十点展示してあ

まで。

金沢美大の留学生を受け入れて二十五周年を記念す

る事業。同大へ来た外国人

由

としたヒョウタンのような由

目との組み合わせがユニーク。

韓国の吳球煥さんは「生

く

と相

する。

成

ードマンさんは「パーティ用の皿」直線や曲線で

おもしろい文様を見せてい

る。台湾の王正鴻さんは油

滴天目「福」。ふつくらと

と盛り上がる造形が生命の

誕生を思わせている。山下

晴子さん

の彫刻「弁証法的

リンク」は、円形と四角形

と相反する形を一つのリン

グの中に取り入れ、力強い

作品

に取り入れ、力強い

このほか油絵、写真、ガ

ラス、商業デザインの作品

も展示されている。

晴子さん

の彫

開幕に先立ち、北出藤雄、金沢美大長、山出金沢市長が「一人でも多くの学生、市民に鑑賞に來てもらいたい」とあいさつした。

同交流展にはこのほか、二十一日午後一時から、同大ホールで講演会、二十三日午後一時三十分から市文化ホールでフォーラムが行われ、美術についての認識を深め合う。



彫刻などを金沢に残すことにしたホセ・バネガスさん

「私の作品見て下さい」

スペイン 作品10数点、金沢へ

金沢美術工芸大学の国際化を目指すスペイン在住の彫刻家ホセ・バネガスさん(37)が、つとたくさんの人々に見ても

「私の過ぎした金沢でも、もつとたくさんの人々に見ても

うへたい」と、出品した彫刻五点を含む作品十数点を金沢に残し、友人が経営する金沢市高尾台の喫茶店「JO-HOUSE」で展示されることになった。

ホセさんは、コロンビア出身で、昭和五十八年に同大研究生として来日、四年間を金沢で過ごし、その後、スペインのバルセロナで創作活動を続けていた。世界各地で個展を開くなど、評価を得ている。

今回は、同大の美術展に招かれて出品、四年ぶりに来日していた。作品は直線と曲線、白と黒などコントラストを大事にした彫刻、版画などで、不思議な雰囲気を持ち、特に彫刻は可動組み替えが自由で「見るだけではなく、触ってもらい、その人のイメージに応じた作品になる」のが特徴。

金沢で学んだ間に、寺や墓石、漢字など日本文化の影響を受けたと言い、「その後、私の作品がどう変わったか見てもらいたい」と話している。

作品の展示される喫茶店には、窓際やピアノの上など、さりげなくホセさんの彫刻、版画を飾る。ホセさんは、きょう四日に金沢を離れる。



「91国際美術交流展」を鑑賞する
外国からの来賓たち
=金沢市文化ホールで

金沢で国際美術交流展

世界の友 芸術交歓

留学生受け入れ二十五周年を記念する金沢美術工芸大学など主催の「91国際美術交流展」が十九日から、金沢市高岡町の市文化ホール

ル展示ギャラリーで始まつた。二十九日まで。出品数は八十点。金沢美大へ留学した作家、逆に外

チックな色絵世界を開いた。またニューヨークのメトロポリタン美術美術館学芸員の十肥信一さんは「Re

・コーセさんは「九谷の皿」を研究した英國のラッセル・コーンさんは「九谷の皿」と独自の色彩感覚とイルカなどのモチーフで、エキソ

・ジが流れるような曲線で表わされている。絵画、工芸、立体、デザイン作品など抽象を中心に、おもしろい展示会となっている。

開催に先立って北出藤雄妹校の米国・バード大学、スウェーデン・ヴァランド学院の学生、教員の作品が展示されている。一九七九年から三年間、九谷焼の色絵

・デミトリオウ・バード大学副学長ら関係者約百人と作品鑑賞をした。二十一日午後一時から、同大学ホールで講演会、二十三日午後一時三十分から、金沢市文化ホールでフォーラムが開かれ交流展を盛りあげる。